

## 次期安全プラン案

## 現実的数値で目標設定

## トラック

国土交通省は1月28日の有識者検討委員会で、次期事業用自動車総合安全プラン案を提示した。焦点だった目標値の設定は「現実的で着実に取り組める目標が必要」（国交省）と判断し、現在の安全プランで未達が見込まれる項目は数値を据え置く。策定後は各対策を柔軟に見直すため、必要に応じて計画の具体策の追加や修正を行い、目標の達成に取り組む。

小林  
孝博

次期プランの期間は2026年4月～31年3月までの5年間。国交省は今後、計画内容を議論してきた自動車運送事業安全対策検討会で最終案を作成。その後、親会議の総合的安全対策検討会の確認を経て、次期プランを正式決定する。パブリックコメント（意見公募）も行う。

目標値のうち、現在のプランで達成が見込めない24時間死者数、人身事故件数、各業態の個別目標の数値は据え置く。トランク・バス・タクシーを合わせた死者数の目標は225人以下、人身事故件数は1万6500件を合わせた死者数の目標は225人以下、人身事故件数は1万6500件を以下とする。

現プランで目標を達成した重傷者数は、過去5年

## 次期安全プランの数値目標(案) ～トラックの場合～

①24時間死者数 (190人以下)	
トラック (軽以外)	175人以下
軽貨物	15人以下
②重傷者数 (1120人以下)	
トラック (軽以外)	820人以下
軽貨物	300人以下
③人身事故件数 (9100件以下)	
トラック (軽以外)	5800件以下
軽貨物	3300件以下
④飲酒事故 (ゼロ件)	
⑤業界目標 (追突・3350件以下)	
トラック (軽以外)	2380件以下
軽貨物	970件以下

(注) カッコ内は全体目標

期プランでは策定後  
の進め方も見直  
し、必要に応じて  
計画的具体策の追  
加・修正も行って  
いく方針。新たな  
取り組みでは、外  
部要因による事故  
件数の変動影響や  
施策効果を適切に  
評価するため、総  
走行距離当たりの

のは初々、外に見えない、通販の普及に伴う軽貨物の需要増に合わせ、事故の増加が課題となる中、実態を把握し対策を講じる。

軽貨物が33000件以下となる見込みだ。  
追突事故の削減を掲げたトラック独自の目標も、それぞれ数値を設定し、トラックは2380件以下、軽貨物は970件以下とする。安全プランで軽貨物に目標を設定する

事故件数を減らし、実態による原因となり得る人手不足の対応では、健康起因因の対策の強化、業務経験の少ないドライバーや外国人ドライバーの安全対策も徹底する。運行管理

の高度化も推進していく。  
軽貨物では、企業や個人事業主に安全管理者の講習受講と選任を着実に行わせることも、事故発生状況などの実態を正確に把握・分析し、実態安全プランは09年初めて策定以降、事業用自転車輸送に係る対応策を講じる。  
軽貨物運送に業務を委託する大手通販、元請けなどの委員との連携も進めることで、よりを集めた適正化協議会の委員との連携も進めることで、よりを基づく対策を講じる。

動車の事故削減につなげてきたが、数値目標の達成に苦戦してきた経緯がある。国交省は次期プランの目標にこれまでの実績を引き継ぐことで、期間中の着実な達成を目指したいと考える。

媒体名	輸送経済
掲載日	2026.2.3
掲載面	1面

## 総合安全対策検討委

# 次期。プラン目標案提示

## 軽と分離、追突事故削減

国土交通省は1月28日開催した、事業用自動車に係る総合的安全対策検討委員会で、次期事業用自動車総合安全プラン

(2026~30年)の目標案を示した。

目標値の設定では、現行のプラン2025(21~25年)の値が未達の項

目は、総走行距離あたりの指標を過去5年間の最

低値を目標に目標を設定

を継続する。達成した項目は、総走行距離あたりの指標を過去5年間の最

低値を目標に目標を設定

者は、目標項目は、24時間死者数、重傷者数、人身事故件数、飲酒運転事故件数を継続する。トラックは、「トラック(軽除く)」と「軽貨物」に分けて目標を立てる。

各業態の個別目標は、目標項目のうち、プラン25で達成した重傷者数を目標とする。それ以外はプラン25の目標を継続する。

は、過去5年の総走行距離あたりの最低年を目標に設定。それ以外はプラン25の目標を継続する。

事業者・運転者への分かれやすから引き続き数で示す。

目標項目は、24時間死者数、重傷者数、人身事故件数を継続する。目標項目のうち、プラン25で達成した重傷者数を目標とする。それ以外はプラン25の目標を継続する。

は、過去5年の総走行距離あたりの最低年を目標に設定。それ以外はプラン25の目標を継続する。

は、過去5年の総走行距離あたりの最低年を目標に設定。それ以外はプラン25の目標を継続する。

は、過去5年の総走行距離あたりの最低年を目標に設定。それ以外はプラン25の目標を継続する。

は、過去5年の総走行距離あたりの最低年を目標に設定。それ以外はプラン25の目標を継続する。

は、過去5年の総走行距離あたりの最低年を目標に設定。それ以外はプラン25の目標を継続する。

は、過去5年の総走行距離あたりの最低年を目標に設定。それ以外はプラン25の目標を継続する。

は、過去5年の総走行距離あたりの最低年を目標に設定。それ以外はプラン25の目標を継続する。

### ■次期事業用自動車総合安全プラン(2026~30年)

全体目標案		
	目標値	目標指標
24時間死者数	目標値	目標指標
事業用自動車全体	225人以下	0.31人/億km以下
トラック(軽以外)	175人以下	0.30人/億km以下
軽貨物	15人以下	0.26人/億km以下
重傷者数	目標値	目標指標
事業用自動車全体	1,740人以下	2.39人/億km以下
トラック(軽以外)	820人以下	1.42人/億km以下
軽貨物	300人以下	5.11人/億km以下
人身事故件数	目標値	目標指標
事業用自動車全体	16,500件以下	22.68件/億km以下
トラック(軽以外)	5,800件以下	10.04件/億km以下
軽貨物	3,300件以下	56.20件/億km以下
飲酒運転事故	目標値	目標指標
	ゼロ	

個別目標案		
	目標値	目標指標
追突事故件数	目標値	目標指標
トラック(軽以外)	2,380件以下	4.12件/億km以下
軽貨物	970件以下	16.52件/億km以下

目標項目は表の通り。新たに総走行距離あたりの目標指標を示し、フォローアップ時に活用しながら、目標値そのものは、

で発生要因の多い追突事故とした。

目標案は、目標値の達成状況等のフォローアップを行うとともに、必要に応じ計画の具体策の追加、修正等を随時行う。

目標案を含め次期プラン案全体について、委員会はおおむね承認を得た。パブリックコメントを行い、3月23日に開催予定の次回会合で正式に決める。